# お城だより 6

2005.7.1

写真：福岡城跡・花の風景（あじさい）・松囃子

## まぼろしの福岡城に夢を抱いて・・・

鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会 理事
タカクラホテル福岡 会長
高倉　清子

福岡市は近年めまぐるしく変化を遂げ今やアジアを代表する国際都市へと躍進し、この街に暮らして早五十年、年月の経過をしみじみ感じる昨今です。しかしながら素晴らしい発展を遂げたわが街福岡にただつだけ（！）欠けているものがあります。それは福岡城天守閣です。私は昔々の本当にうら若き頃より小倉城や熊本城等を訪れる度に、なぜ福岡にはお城がないのか？なぜ復元されないのかと、寂しい思いで幻のお城を夢に思いながら長年過ごして参りました。

皆様ご存知の通り、福岡は黒田長政公が、関ヶ原の合戦後福岡城を築城され、五十二万石という大藩の城下町として繁栄致しました。「福岡城には元々天守閣はなかった。」という説がございます。黒田公は天守閣の基礎である天主台は築造されたものの幕府にご遠慮されて天守閣はお築きになられなかったとか・・・。

しかし、私には絶えず壮大な天守閣の姿が心の中に浮かび上がるのでございます。このまま叶わぬ夢で終わるかもしれないとあきらめかけていた矢先、最近になりまして、鴻臚館、福岡城を整備、復元して、福岡の歴史を守り、更には観光資源として活かしていこうという市民の会が設立され、お城造りへの第一歩がスタートを致しました。神様が何処かで私の願いをお聞き及びになられていたのでしょうか？私の夢である福岡城が、未来永劫、福岡のシンボルとして市民から愛され、また子供達が、お城を通じて歴史を学び、先人の偉業を尊び、郷土愛を育み、そして未来に繋いでいくことができれば大変有意義なことと存じます。日常の業務に追われ、慌しい毎日を過ごしておりましても、お城作りに夢を馳せると疲れを忘れる程心が浮き立って参ります。生存中に美しい天守閣の姿を目に出来るかどうかは予測がつきませんが、いつの日かお城が築造されることを目に浮かべますと、それだけで幸せを感じるのです。

さて、復元する為には個人の力だけでは実現は難しく、何より市民が、お城造りに熱意と理解を持ち協力をしていく事が必要だと思います。聞くところによりますと、熊本城も市民のお城を熱望する声が高まり市民と篤志家の浄財によって築造されたとか・・・。何年要するのか正直見当もつきませんし、天守閣再現の為には膨大な調査研究等、問題も山積みです。しかしながら、たとえどんな困難が生じようと「意志あるところ道は拓ける!!」と強く信じ、残された私の限られた時間でございますが、夢のお城造りに捧げる覚悟で、頑張ってみたいと思うのでございます。

# 65年ぶりに甦った
# 福岡城どんたく演舞台

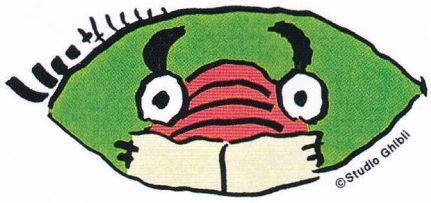
快晴の五月三日、福岡城跡にて、我がNPO法人「鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会」と読売新聞西部本社の共催による市民の祭り「福岡城どんたく演舞台」が65年ぶりに甦り45団体600余人が出演し伝統芸能を披露しました。9時40分、舞台開き。石井理事長の挨拶、岡部事務局長から「福岡城どんたく演舞台」開催にあたっての経緯等述べられ、舞台清め―四方払、柳生新影流柳生会の方々によります黒田藩古武道の披露。格調高く舞台は動き出しました。筑前琵琶中村旭園社中の「どんたく松囃子」、筑前今様二川流吟道披露、会の観光・親善大使藤堂輝明氏の民謡「黒田節」、長唄三味線杵屋佐和二郎社中の「どんたく三番叟」と福岡城跡の舞台ならではの内容。

日韓親善交流・金孝淑さんの踊り「プチェチュム」、熊本からバス2台で参加の「隋兵肥後一会」、博多仁和加、ふくこい連のダイナミックな総踊り、野の花学園の「野の花太鼓」等々舞台は空き時間もなく順調に回転し夕方を迎えました。会の島野・野田・松井各氏による祝いめでた、石井理事長の手一本で無事終了。

翌四日、警固中学校吹奏楽部のさわやかな演奏で始まりました。11時頃博多松囃子西流れ・稚児流れ・三福神流れの皆様方に作法に則ってご挨拶。琉球舞踊「柳美会」、千代相撲甚句、博多古謡那能津会どんたく隊、圧巻の陽流「抱え大筒」等たくさんの方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

締めくくりの挨拶、祝いめでた、手一本。二日間、晴天に恵まれトラブルもなく無事終了いたしました。

来年の舞台が楽しみです。市民の皆様へのPRに努めましてたくさんの観客を動員したいと願っております。




読む、いま。
読む、先。
読む、ほんとう。

読売新聞

購読のお申し込みは 0120-4343-81 YOMIURI ONLINE http://www.yomiuri.co.jp/

福岡城こぼれ話

# 福岡城と天守閣

その二

天守は別名、殿守、殿主とも称され、その起源については論争が絶えず判然としない。機能的には、物見矢倉が進歩したもので、建築学からみると殿守と記されるように城内の御殿の中心部が発達したものを指す。一例として古式の天守（犬山城、丸岡城）のように大きな入母屋造りの構築に小さな望楼をのせたかたちをしている。

天守閣と俗称されるようになったのは明治末からで本来は天守、天主、天守矢倉が正しいとされる。資料上からは「細川両家記」天文十九年にある伊丹城天守が永正十七年（一五二〇年）と初見される。一方「遺老物語」には永禄元年（一五五八年）に尾張楽田城に造られたとある。

本格的な楼閣建築として、一城の中心に天守が出現するのは織田信長が築いた安土城天守で金殿玉楼を極めた。築城は天正四年（一五七六年）で、火災による焼失までわずか数年であったが、権力の象徴として天下統一の野望に燃える諸将達のあこがれであった。

以後、全国各地に天守建築のブームが起こった。織豊期には各地の大名が所領に応じて築城したが、一六一五年の「一国一城令」により多くの城は朽ちていった。

徳川三百年の後、明治四年（一八七一年）の廃城令と第二次大戦の空襲により貴重な文化財であり、各地のシンボルとしての天守閣は激減し別記十二城を残すのみなった。

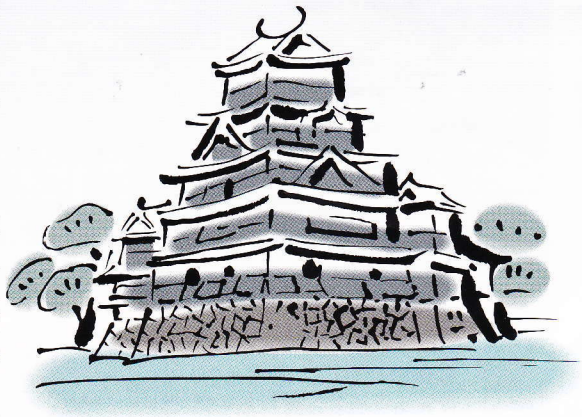
名城といわれた、名古屋、大阪、熊本城の天守閣は復興され市民に親しまれている。福岡の中心に「天守閣」が見られるのが近からんことを望んで止まない。

（学術班：津田慶一）

天守閣（復興天守を除く）　城と書院（原色日本の美術12巻）より

| 種類 | 城　名 | 場所 | 時代 | 完成年 | 城主名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 国宝 | 姫路城 | 兵庫県 | 桃山 | 1609 | 池田輝政 |
| 〃 | 松本城 | 長野県 | 〃 | 1597 | 石川康長 |
| 〃 | 犬山城 | 愛知県 | 室町 | 1599 | 成瀬隼人 |
| 〃 | 彦根城 | 滋賀県 | 桃山 | 1606 | 伊井直継 |
| 重文 | 弘前城 | 青森県 | 江戸 | 1611（火災）<br>1627（火災）<br>1810 | 津軽信政 |
| 〃 | 丸岡城 | 福井県 | 桃山 | 1576 | 柴田勝豊 |
| 〃（※） | 備中松山城 | 岡山県 | 江戸 | 1684（改築） | 水谷勝隆 |
| 〃 | 松江城 | 島根県 | 桃山 | 1611 | 堀尾吉晴 |
| 〃 | 丸亀城 | 香川県 | 江戸 | 1596<br>1643（改築） | 生駒親正<br>山崎家治 |
| 〃 | 松山城 | 愛媛県 | 江戸 | 1602（築城）<br>1784（火災）<br>1854（再築） | 加藤嘉明<br>松平勝善 |
| 〃 | 高知城 | 高知県 | 江戸 | 1603<br>1727（火災）<br>1747 | 山内一豊<br>山内豊敷 |
| 〃 | 宇和島城 | 愛媛県 | 江戸 | 1668 | 伊達宗利 |

（※）は山城の天守の唯一の遺構




## 財団法人　黒田奨学会

本会は黒田家より土地の寄贈を受け、1915年に財団法人黒田奨学会を設立。旧黒田藩の子弟育成の主旨を引き継ぎ、社会有為の人材育成を目的として大学生への奨学金給付制度を行っている。
本年度で創立90年を迎える。
本会の役員は、その殆どが、この奨学制度の恩恵を受けた人達で組織されている。

黒田奨学会役員

総　裁　黒田長久（第15代当主）
理事長　長　徳重
理　事　目加田さくを
理　事　各務　章
理　事　田中崇和
理　事　馬頭徹夫
理　事　東寺正和
理　事　横山信彦
理　事　久野修資
理　事　新原潤一郎
理　事　横大路俊一
理　事　久保田康史
監　事　伊達健太郎
監　事　渡辺幸信
顧　問　二田良之
事務職　大島汐子
事務職　栗山由利子
事務職　小林桂子

# INFORMATION

## 新規会員名簿

（3／1～6／16入会分）

**正会員（団体）** 6団体

(株)アイ・ピー・エス
(株)ケイ・エス・デー
大成建設(株)九州支店
(株)都市再生研究所
柳生新影流柳心流
(有)アイバグループ

**正会員（個人）** 19名

阿比留　哲
鮎川　茂彦
江藤　てるき
小河　弘之
河東　俊也
亀川　フサ子
木嶋　和子
柴田　清孝
高木　俊子
髙瀬　由紀子
瀧田　静江
中川　恒彦
西野　信子
長谷川　賢輔
福澤　俊幸
福田　節子
松永　博一
簑原　昭子
上原　晃
河方　正己
川下　睦彦
木村　勲
高良　繁子
小西　敏文
小林　俊幸
斎田　耕作
佐藤　俊一
庄山　律子
宗　宏
新内　善夫
杉　重行
高谷　正之
髙瀬　正二郎
高山　義明
滝島　哲也
竹崎　修
竹林　一夫
田坂　大藏
田島　満行
田中　幸次郎
田中　増視
田中　義昭
田村　浩二
津村　安和
藤　英吉
中尾　勝子
中垣　勝利
中西　敏彦
西木　友世
野上　みどり
橋本　俊賢
原田　則子
比嘉　義永
樋口　恩
深沢　一夫
福嶋　賢司
福島　敏子
古谷　正之
穂坂　昌之
堀本　光乃
前田　光風
前田　重光
水上　千世子
宮本　和好子
村上　寿浩
毛利　英助
森　哲夫
森田　弘子
松浮　祐
安田　誠
吉水　勝喜

**一般会員（団体）** 7団体

綾杉　酒造場
イワオエンジニアリング(株)
吟道宰都館
(有)サンビッグトラベルジャパン
(有)滝川印刷所
博多那津会
(株)読売エージェンシー

**一般会員（個人）** 70名

赤塚　孝子
朝稲　敏隆
阿刀　寛明
有久　守
石橋　秀子
市岡　美代子
一ノ瀬　征雄
今丸　濵
上田　喜久雄
上村　純子
内野　順子
梅津　昭彦
大村　哲也
近江　禮子
岡本　弘諠
小田　哲也
片山　晃一
加藤　敬介

## 春のお城祭り「観桜の宴」中止について

今春、4月6日に福岡城南二の丸多聞櫓の庭園で催すように、会員の皆様にご案内を申し上げておりました。事務局での準備もほぼ完了し、「観桜の宴」の開催を待つのみでした。ところが、突然、3月20日の「福岡西方沖地震」発生で福岡市は多大の震災となり、福岡城も上の橋東半分が通行が危険状態、上の橋大手門御門の石垣が数個割れ、さらに石垣のいくつかの石がずれて通行禁止になりました。南二の丸の多聞櫓も壁に亀裂が多くでき、一部土壁の剥落及び多聞櫓の内部の木材にも被害が発生しました。

そういう予期しない出来事の発生のため、事務局では、福岡市及び福岡市教育委員会に意向を伺いましたが、史跡保存状態から多聞櫓の庭園での「観桜の宴」開催は遠慮してほしいとのことでした。また、市民感情としましても地震被災状況、余震がいつ発生するか分からない状況もあり、「観桜の宴」を開催することに市民の皆様の違和感もあると判断し、急遽中止することに決定いたしました。各会員の皆様にご連絡いたしましたが、一部連絡もれのためご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

しかし、来年度はこの度の準備経緯を参考に、楽しんでいただける「観桜の宴」を実施する計画です。ご期待ください。なお、第二回NPO法人発足総会は当日読売新聞西部本社にて実施いたしました。

追記しますと今年は低温の日が長く桜の開花が遅れ、そのためにソメイヨシノとシダレザクラがほぼ同時に開花するという珍しい年になり舞鶴公園の福岡城跡は満開の桜になりました。（荻野）

## 会からのお誘い

**9月18日（日）**

**鴻臚館・福岡城 観月の宴**

多彩な行事と
弁当・酒・菓子付
特別鑑賞券　3,000円
参加募集中

**9月28日～30日** 2泊3日

**秋の黒田家 ゆかりの韓国路へ**

晋州城や釜山の倭城めぐり
※お問い合せは事務局まで

## 編集後記

福岡城に天守閣を、日本に、ここ福岡城跡しかない鴻臚館の遺跡・福岡市の歴史セントラルパークにゆだねる夢は大変に大きい。福岡城跡を支える市民の会の今後やって行く作業は多い。NPO法人として人格を有し、社会に責任ある行動を期待される小さな第一歩ではありますが、大事な舞鶴公園一帯を福岡だけでなく、九州、いや日本に輝く歴史と観光に輝く復元・再建・修復に加えて先人の教えが学べる一大国資産の公園にしたいと考えております。

定年後の熟年事務局員が全力をあげて、自分の役割分担を懸命に努力して頂いています。厚くお礼申し上げます。

事務局長　岡部定一郎

編集・発行／鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会
住　所／〒810－0042　福岡市中央区赤坂1－12－15　読売福岡ビル7階
FAX 092－716－8254
TEL 092－716－8238
デザイン・印刷／(有)セブンプリンティング

この街と生きていく。

福岡しんきん

福岡信用金庫

本店／福岡市中央区天神1丁目6番8号 天神ツインビル
Tel.751-4731
URL　http://www.fukuoka-shinkin.co.jp